

情報科学部A方式Ⅱ日程・デザイン工学部A方式Ⅱ日程

理工学部A方式Ⅱ日程・生命科学部A方式Ⅱ日程

2 限 数 学 (90 分)

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 志望学部・学科によって解答する問題が決まっています。問題に指示されている通りに解答しなさい。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意すること。
4. 問題文は 4 ページから 32 ページまでとなっています。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

(1) 解答上の注意

問題中の ア, イ, ウ, … のそれぞれには、特に指示がないかぎり、 $-$ (マイナスの符号), または $0 \sim 9$ までの数が 1 つずつ入ります。当てはまるものを選び、マークシートの解答用紙の対応する欄にマークして解答しなさい。

ただし、分数の形で解答が求められているときには、符号は分子に付け、分母・分子をできる限り約分して解答しなさい。

また、根号を含む形で解答が求められているときには、根号の中に現れる自然数が最小となる形で解答しなさい。

〔例〕

$\frac{\boxed{\text{ア}} \sqrt{\boxed{\text{イ}}}}{\boxed{\text{ウエ}}}$ に $\frac{-\sqrt{3}}{14}$ と答えたいときには、以下のようにマークしなさい。

ア	●	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	⊖	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9
ウ	⊖	0	●	2	3	4	5	6	7	8	9
エ	⊖	0	1	2	3	●	5	6	7	8	9

マークシート解答方法の注意事項は裏表紙に続きます。問題冊子を裏返して読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。

生命科学部応用植物学科を志望する受験生は，〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕〔Ⅲ〕〔Ⅳ〕〔Ⅴ〕を解答せよ。

情報科学部コンピュータ科学科，デザイン工学部建築学科，理工学部電気電子工学科・経営システム工学科・創生科学科，生命科学部環境応用化学科のいずれかを志望する受験生は，〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕〔Ⅲ〕〔Ⅵ〕〔Ⅶ〕を解答せよ。

〔Ⅰ〕

集合 P , Q を，

$$P = \{7m + 2 \mid 1 \leq 7m + 2 \leq 300, m \text{ は正の整数}\}$$

$$Q = \{5n - 3 \mid 1 \leq 5n - 3 \leq 300, n \text{ は正の整数}\}$$

とする。

(1) P の要素の個数は アイ であり， Q の要素の個数は ウエ である。

(〔Ⅰ〕の問題は次ページに続く。)

(2) $P \cap Q$ の要素の個数を求める。

a を, $P \cap Q$ の要素とする。

$a \in P$ であるから, $a + \boxed{\text{オ}}$ は 7 の倍数である。

ただし, $0 \leq \boxed{\text{オ}} < 7$ とする。

i を, $a + \boxed{\text{オ}} = 7i$ を満たす整数とする。

$a \in Q$ でもある。 j を, $a = 5j - 3$ を満たす整数とすると,

$$5j = 5i + 2 \left(i - \boxed{\text{カ}} \right)$$

となる。よって, $i - \boxed{\text{カ}}$ は, $\boxed{\text{キ}}$ の倍数である。

k を, $i - \boxed{\text{カ}} = \boxed{\text{キ}} k$ を満たす整数とすると,

$$a = 5j - 3 = \boxed{\text{クケ}} k + \boxed{\text{コ}}$$

となる。

$P \cap Q$ の要素で最も小さい整数は $\boxed{\text{サシ}}$ であり, $P \cap Q$ の要素の個数は $\boxed{\text{ス}}$ である。

([I]の問題は次ページに続く。)

(3) 連立不等式

$$\begin{cases} y \geq x - 4 \\ y \leq 92 - 5x \end{cases}$$

が表す座標平面上の領域を D とする。

D に含まれる点 (x, y) の x 座標の最大値は、セソ である。

D に含まれる点 (x, y) で、 $x \in P$ および $y \in Q$ である点の個数は、

タチ である。

(計 算 用 紙)

〔Ⅱ〕

空間内に、四面体 $OABC$ がある。

$$OA = OB = 2, \quad OC = 3, \quad AB = BC = CA = 2$$

である。

$$\vec{a} = \overrightarrow{OA}, \quad \vec{b} = \overrightarrow{OB}, \quad \vec{c} = \overrightarrow{OC}$$

とおく。

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = \boxed{\mathcal{A}}, \quad \vec{a} \cdot \vec{c} = \frac{\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}}$$

である。

(〔Ⅱ〕の問題は次ページに続く。)

平面 ABC 上に点 H があり、直線 OH は平面 ABC に直交しているとする。

点 H が、平面 ABC 上にあるから、 $\overrightarrow{CH}$ は、実数 x, y を用いて

$$\overrightarrow{CH} = x \overrightarrow{CA} + y \overrightarrow{CB}$$

と表される。

$$\overrightarrow{OH} = x \overrightarrow{a} + y \overrightarrow{b} + \boxed{\text{I}} \overrightarrow{c}$$

である。

ただし、 $\boxed{\text{I}}$ については、以下の A 群の ①～⑨ から 1 つを選べ。

A 群

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------------|
| ① x | ② y | ③ $(1 - x)$ |
| ④ $(1 - y)$ | ⑤ $(-x)$ | ⑥ $(-y)$ |
| ⑦ $(1 - x - y)$ | ⑧ $(2 - x - y)$ | ⑨ $(1 - x)(1 - y)$ |

(〔Ⅱ〕の問題は次ページに続く。)

$\overrightarrow{OH}$ と $\overrightarrow{BA} = \vec{a} - \vec{b}$ が垂直であることから,

$$\overrightarrow{OH} \cdot (\vec{a} - \vec{b}) = 2x - \boxed{\text{オ}} y = 0$$

となる。 $\overrightarrow{OH}$ と $\overrightarrow{CA} = \vec{a} - \vec{c}$ が垂直であることから,

$$\overrightarrow{OH} \cdot (\vec{a} - \vec{c}) = \boxed{\text{カ}} x + 2y - \frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}} = 0$$

となる。

$$x = \frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}}}, \quad y = \frac{\boxed{\text{サ}}}{\boxed{\text{シ}}}$$

である。

(〔Ⅱ〕の問題は次ページに続く。)

直線 AB と CH の交点を M とする。

$$\overrightarrow{CH} = \frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}} \overrightarrow{CM}$$

である。

線分 CH の長さは $\frac{\boxed{\text{ソ}} \sqrt{\boxed{\text{タ}}}}{\boxed{\text{チ}}}$ であり、四面体 OABH の体積は $\frac{\sqrt{\boxed{\text{ツ}}}}{\boxed{\text{テ}}}$ であ

る。

〔Ⅲ〕

中が見えない袋の中に、カードが8枚入っている。

それぞれのカードには、整数0, 1, 2, 3, 4のいずれか1つが書かれている。

0, 1, 2が書かれたカードはそれぞれ2枚ずつであり、3, 4が書かれたカードはそれぞれ1枚ずつである。

- (1) 袋からカードを1枚取り出すとき、取り出したカードに書かれた整数が正の

数である確率は $\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}$ である。

- (2) 袋からカードを同時に2枚取り出す。このとき、取り出したカードの少なく

とも1枚に1が書かれている確率は $\frac{\boxed{\text{ウエ}}}{\boxed{\text{オカ}}}$ である。

- (3) 袋からカードを1枚取り出し、取り出したカードに書かれた整数を a とする。取り出したカードを袋に戻さずに、袋からもう1枚カードを取り出し、取り出したカードに書かれた整数を b とする。

(i) $a + b \geq 5$ である確率は $\frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}}$ である。

(ii) $b \geq a$ である確率は $\frac{\boxed{\text{ケコ}}}{\boxed{\text{サシ}}}$ である。

(〔Ⅲ〕の問題は次ページに続く。)

- (4) 袋からカードを1枚取り出し、取り出したカードに書かれた整数を a とする。取り出したカードを袋に戻さずに、袋からもう1枚カードを取り出し、取り出したカードに書かれた整数を b とする。取り出した2枚のカードを袋に戻さずに、袋からさらにもう1枚カードを取り出し、取り出したカードに書かれた整数を c とする。

整数 m を、

$$m = 100a + 10b + c$$

により定める。

$m \geq 221$ である確率を P とする。

a が2でなく、かつ $m \geq 221$ である確率は $\frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}}}$ である。

$P = \frac{\boxed{\text{ソタ}}}{\boxed{\text{チツ}}}$ である。

また、 $m \geq 221$ であったとき、 a が2でない確率は $\frac{\boxed{\text{テト}}}{\boxed{\text{ナニ}}}$ である。

次の問題〔Ⅳ〕は、生命科学部応用植物科学科を志望する受験生のみ解答せよ。

〔Ⅳ〕

a を実数とし、関数 $f(x)$ を、

$$f(x) = x^3 + 4x^2 - 3x + a$$

とする。

$f(x)$ の導関数を $f'(x)$ とする。

$$f'(x) = \boxed{\text{ア}} x^2 + \boxed{\text{イ}} x - \boxed{\text{ウ}}$$

である。

（〔Ⅳ〕の問題は次ページに続く。）

$f'(x) = 0$ となる x の値は、小さい順に

$$- \boxed{\text{エ}}, \frac{\boxed{\text{オ}}}{\boxed{\text{カ}}}$$

である。

$$f\left(\frac{\boxed{\text{オ}}}{\boxed{\text{カ}}}\right) \text{ は, } f(x) \text{ の } \boxed{\text{キ}} \text{。}$$

ただし、 $\boxed{\text{キ}}$ については、以下の A 群の ①～⑤ から 1 つを選べ。

A 群

- ① 極大値であり、最大値でもある
- ② 極大値であるが、最大値ではない
- ③ 極小値であり、最小値でもある
- ④ 極小値であるが、最小値ではない
- ⑤ 極値ではない

〔IV〕の問題は次ページに続く。

座標平面上の曲線 $y = f(x)$ の、点 $(1, f(1))$ における接線が原点を通るとき、
 $a = \boxed{\text{ク}}$ であり、接線の方程式は

$$y = \boxed{\text{ケ}} x$$

である。

$a = \boxed{\text{ク}}$ のときの曲線 $y = f(x)$ を C とする。また、 C の、点 $P(1, f(1))$ における接線を ℓ とする。

b, c を実数とし、関数 $g(x)$ を、

$$g(x) = -x^2 + bx + c$$

とする。

曲線 $y = g(x)$ が P を通り、 $y = g(x)$ の、 P における接線が ℓ に一致するとする。

$$b = \boxed{\text{コサ}}, \quad c = \boxed{\text{シス}}$$

である。

((IV)の問題は次ページに続く。)

$b = \boxed{\text{コサ}}$, $c = \boxed{\text{シス}}$ のときの曲線 $y = g(x)$ を D とする。

2 曲線 C , D と 2 直線 $x = 0$, $x = 1$ で囲まれた部分の面積は $\frac{\boxed{\text{セソ}}}{\boxed{\text{タチ}}}$ であ

る。

次の問題〔V〕は、生命科学部応用植物科学科を志望する受験生のみ解答せよ。

〔V〕

数列 $\{a_n\}$ は、初項 $a_1 = -4$ であり、漸化式

$$a_n = 2a_{n-1} + 2n \quad (n = 2, 3, \dots)$$

を満たすとする。

$a_{n+1} - a_n = b_n$ ($n = 1, 2, \dots$) とおく。数列 $\{b_n\}$ は、初項 $b_1 = \boxed{\text{ア}}$ であり、漸化式

$$b_n = \boxed{\text{イ}} b_{n-1} + \boxed{\text{ウ}} \quad (n = 2, 3, \dots)$$

を満たす。

$b_{n+1} - b_n = c_n$ ($n = 1, 2, \dots$) とおく。数列 $\{c_n\}$ は、初項 $c_1 = \boxed{\text{エ}}$ であり、漸化式

$$c_n = \boxed{\text{オ}} c_{n-1} \quad (n = 2, 3, \dots)$$

を満たす。

(〔V〕の問題は次ページに続く。)

$\{c_n\}$ の一般項は,

$$c_n = \boxed{\text{オ}}^{\boxed{\text{カ}}} \quad (n = 1, 2, \dots)$$

である。

ただし, $\boxed{\text{カ}}$ については, 以下の A 群の ①～⑨ から 1 つを選べ。

A 群

- | | | | | |
|-------------|-------------|---------|-------------|-----------|
| ① $n - 2$ | ② $n - 1$ | ③ n | ④ $n + 1$ | ⑤ $n + 2$ |
| ⑥ $n^2 - n$ | ⑦ $n^2 - 1$ | ⑧ n^2 | ⑨ $n^2 + n$ | |

(〔V〕の問題は次ページに続く。)

$\{b_n\}$ と $\{c_n\}$ の関係から

$$b_2 - b_1 = \boxed{\text{工}}$$

.....

$$b_{n-1} - b_{n-2} = \boxed{\text{オ}}^{\boxed{\text{キ}}}$$

$$b_n - b_{n-1} = \boxed{\text{オ}}^{\boxed{\text{ク}}}$$

であり, $\{b_n\}$ の一般項は,

$$b_n = \boxed{\text{オ}}^{\boxed{\text{ケ}}} - \boxed{\text{コ}} \quad (n = 1, 2, \dots)$$

である。

ただし, $\boxed{\text{キ}} \sim \boxed{\text{ケ}}$ については, 19 ページの A 群の ①～⑨ からそれぞれ 1 つを選べ。ここで, 同じものを何回選んでもよい。

(〔V〕の問題は次ページに続く。)

$\{a_n\}$ の一般項は,

$$a_n = \boxed{\text{オ}}^{\boxed{\text{サ}}} - \boxed{\text{シ}} n - \boxed{\text{ス}} \quad (n = 1, 2, \dots)$$

である。

ただし, $\boxed{\text{サ}}$ については, 19 ページの A 群の ①～⑨ から 1 つを選べ。

$\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和は,

$$\sum_{k=1}^n a_k = \boxed{\text{オ}}^{\boxed{\text{セ}}} - n^{\boxed{\text{ソ}}} - \boxed{\text{タ}} n - \boxed{\text{チ}}$$

となる。

ただし, $\boxed{\text{セ}}$ については, 19 ページの A 群の ①～⑨ から 1 つを選べ。

次の問題〔VI〕は、情報科学部コンピュータ科学科、デザイン工学部建築学科、理工学部電気電子工学科・経営システム工学科・創生科学科、生命科学部環境応用化学科のいずれかを志望する受験生のみ解答せよ。

〔VI〕

e を自然対数の底とし、対数は自然対数とする。

関数 $f(x)$ を、

$$f(x) = \frac{1}{e^x + 2}$$

とする。

(1) $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ および第2次導関数 $f''(x)$ は、それぞれ

$$f'(x) = \frac{\boxed{\text{ア}} e^x}{(e^x + 2)^{\boxed{\text{イ}}}}, \quad f''(x) = \frac{e^{\boxed{\text{ウ}}x} - \boxed{\text{エ}} e^x}{(e^x + 2)^{\boxed{\text{オ}}}}$$

である。

(〔VI〕の問題は次ページに続く。)

(2) $f(x)$ の不定積分 $\int f(x) dx$ は, $e^x = t$ とおいて置換積分法を用いると,

$$\int f(x) dx = \frac{1}{\boxed{\text{カ}}} \int \left(\frac{1}{\boxed{\text{キ}}} - \frac{1}{\boxed{\text{ク}}} \right) dt$$

となる。

ただし, $\boxed{\text{キ}}$, $\boxed{\text{ク}}$ については, 以下の A 群の ①～⑧ からそれぞれ 1 つ
を選べ。ここで, 同じものを何回選んでもよい。

A 群

- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|--------------|
| ① t | ② $t - 1$ | ③ $t + 1$ | ④ $t^2 - 1$ |
| ⑤ $t - 2$ | ⑥ $t + 2$ | ⑦ $t^2 - 4$ | ⑧ $t(t + 2)$ |

(〔VI〕の問題は次ページに続く。)

(3) 関数 $g(x)$ を

$$g(x) = \int_0^x f(u) du$$

とする。

$$g(\log 6) = \log \frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}}}, \quad \lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = \log \sqrt{\boxed{\text{サ}}}$$

である。

(〔VI〕の問題は次ページに続く。)

$g(x) = \log \frac{5}{3}$ となる x の値は, $\log$ である。

(〔VI〕の問題は次ページに続く。)

(4) 座標平面上の曲線 $y = f(x)$ ($x > 0$) を C とする。

s を正の実数とし、点 $(s, f(s))$ における C の接線と、 y 軸との交点の座標を $(0, Y)$ とする。

Y の値が最大となるときの、 s について考える。

s の関数 Y は、 $Y = \boxed{\text{セ}} - \boxed{\text{ソ}} f'(s)$ であるから、 Y の導関数 $\frac{dY}{ds}$ は、
 $\frac{dY}{ds} = - \boxed{\text{タ}}$ である。

ただし、 $\boxed{\text{セ}} \sim \boxed{\text{タ}}$ については、以下の B 群の ①～⑧ からそれぞれ 1 つを選べ。ここで、同じものを何回選んでもよい。

B 群

① $f(s)$

② $f'(s)$

③ $f''(s)$

④ s

⑤ $sf(s)$

⑥ $sf'(s)$

⑦ $sf''(s)$

⑧ s^2

(〔VI〕の問題は次ページに続く。)

Y の値が最大となるのは, $s = \boxed{\text{チ}}$ のときである。

ただし, $\boxed{\text{チ}}$ については, 以下の C 群の ①～⑨ から 1 つを選べ。

C 群

- | | | | | |
|------------|------------|------------|----------------------|----------------------|
| ① 1 | ② 2 | ③ 3 | ④ $\log \frac{1}{2}$ | ⑤ $\log \frac{1}{3}$ |
| ⑥ $\log 2$ | ⑦ $\log 3$ | ⑧ e^{-2} | ⑨ e^2 | |

次の問題〔Ⅶ〕は、情報科学部コンピュータ科学科、デザイン工学部建築学科、理工学部電気電子工学科・経営システム工学科・創生科学科、生命科学部環境応用化学科のいずれかを志望する受験生のみ解答せよ。

〔Ⅶ〕

(1) 関数 $f(x)$ を、

$$f(x) = \sin x \cos^3 x \quad (0 \leq x \leq \pi)$$

とし、座標平面上の曲線 $y = f(x)$ を C とする。

$f(x)$ の導関数を $f'(x)$ とする。 $0 < x < \pi$ において、

$$f'(x) = \boxed{\text{ア}} \cos^4 x - \boxed{\text{イ}} \cos^2 x$$

である。

$0 < x < \pi$ において、 $f'(x) = 0$ となる x の値は、

$$x = \boxed{\text{ウ}}, \boxed{\text{エ}}, \boxed{\text{オ}}$$

である。

ただし、 $\boxed{\text{ウ}} < \boxed{\text{エ}} < \boxed{\text{オ}}$ とし、 $\boxed{\text{ウ}} \sim \boxed{\text{オ}}$ については、以下の A 群の ㉠～㉡ からそれぞれ 1 つを選べ。

A 群

$$\begin{array}{cccccc} \text{㉠} & \frac{\pi}{8} & \text{㉡} & \frac{\pi}{6} & \text{㉢} & \frac{\pi}{4} & \text{㉣} & \frac{\pi}{3} & \text{㉤} & \frac{3}{8}\pi & \text{㉥} & \frac{\pi}{2} \\ \text{㉦} & \frac{5}{8}\pi & \text{㉧} & \frac{2}{3}\pi & \text{㉨} & \frac{3}{4}\pi & \text{㉩} & \frac{5}{6}\pi & \text{㉪} & \frac{7}{8}\pi \end{array}$$

(〔Ⅶ〕の問題は次ページに続く。)

$f(\boxed{\text{ウ}})$ は, $f(x)$ の $\boxed{\text{カ}}$ 。

$f(\boxed{\text{エ}})$ は, $f(x)$ の $\boxed{\text{キ}}$ 。

ただし, $\boxed{\text{カ}}$, $\boxed{\text{キ}}$ については, 以下の B 群の ①～⑤ からそれぞれ 1 つ
を選べ。ここで, 同じものを何回選んでもよい。

B 群

- ① 極大値であり, 最大値でもある
- ② 極大値であるが, 最大値ではない
- ③ 極小値であり, 最小値でもある
- ④ 極小値であるが, 最小値ではない
- ⑤ 極値ではない

(〔Ⅶ〕の問題は次ページに続く。)

$f(x)$ の第 2 次導関数を $f''(x)$ とする。 $0 < x < \pi$ において、

$$f''(x) = 2 \left(\boxed{\text{ク}} - \boxed{\text{ケ}} \right) \sin x$$

である。

ただし、 $\boxed{\text{ク}}$ 、 $\boxed{\text{ケ}}$ については、以下の C 群の ㊦～㊩ からそれぞれ 1 つ
を選べ。ここで、同じものを何回選んでもよい。

C 群

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| ㊦ $\cos x$ | ㊨ $2 \cos x$ | ㊩ $3 \cos x$ | ㊪ $4 \cos x$ |
| ㊫ $4 \cos^2 x$ | ㊬ $5 \cos^2 x$ | ㊭ $6 \cos^2 x$ | ㊮ $7 \cos^2 x$ |
| ㊯ $7 \cos^3 x$ | ㊰ $8 \cos^3 x$ | ㊱ $9 \cos^3 x$ | |

$0 < x < \pi$ において、 $f''(x) = 0$ となる x の値の個数は、 $\boxed{\text{コ}}$ である。

(〔Ⅶ〕の問題は次ページに続く。)

$0 < x < \pi$ において、 $f''(x) = 0$ となる x の値のうち、最も大きいものを a 、
2番目に大きいものを b とする。

$b < x < a$ において、**サ**である。

ただし、**サ**については、以下のD群の①～⑥から1つを選べ。

D 群

- ① $f(x)$ はつねに増加し、 C は上に凸
- ② $f(x)$ はつねに増加し、 C は下に凸
- ③ $f(x)$ はつねに減少し、 C は上に凸
- ④ $f(x)$ はつねに減少し、 C は下に凸
- ⑤ $f(x)$ は増加したのち減少し、 C は上に凸
- ⑥ $f(x)$ は減少したのち増加し、 C は下に凸

(〔VII〕の問題は次ページに続く。)

(2) 座標平面上の曲線 D が, $0 \leq t \leq \frac{\pi}{2}$ を満たす媒介変数 t を用いて,

$$x = 1 - \cos t, \quad y = \sin t \cos^3 t$$

と表されている。

x 軸と D で囲まれた部分の面積を S とする。

$$S = \int_{\boxed{\text{ス}}}^{\boxed{\text{シ}}} y \, dx$$

である。

$$S = \frac{\boxed{\text{セ}}}{\boxed{\text{ソタ}}}$$

である。

(以 上)

(2) 記入上の注意

マークシートの解答用紙に解答するときには、以下のことに注意してマークしなさい。

- ① HBの黒鉛筆を用いてマークしなさい。万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを用いてマークしてはいけません。
- ② 解答を訂正する場合には、消しゴムできれいに消してから、あらためてマークしなさい。
- ③ マークシートの解答用紙を汚したり折りまげたりしてはいけません。
- ④ 所定欄以外にはマークしたり、記入したりしてはいけません。
- ⑤ アの解答を3にマークするときには、以下のようにマークしなさい。

正しいマークの例

ア	⊖	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

悪いマークの例

ア	⊖	①	②	●	④	⑤	枠外にはみ出してマークしてはいけません。
ア	⊖	①	②	●	④	⑤	枠全体をマークしなさい。
ア	⊖	①	②	③	④	⑤	○でかこんでマークしてはいけません。
ア	⊖	①	②	✕	④	⑤	✕を書いてマークしてはいけません。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。